学校番号	216

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史　改訂版」　（山川出版社）						
副教材等	「図説　日本史通覧」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本史Ｂでは、日本の近現代史を学びます。歴史的事象に現在の諸問題との関わりを感じ、現在の日本のあり方を考えましょう。
・ノートと教科書・副読本を用意し、課題を定期的に提出しましょう。

2　学習の到達目標

・日本史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させる。
・日本の文化と伝統の特色についての認識を深めさせる。
・歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の展開への関心を高め、意欲的に探求し、国際社会に主体的に生きる人間としての責任を果たそうとしている。	日本史の展開より問題を考察し、望ましい解決に向け多面的・多角的に考察し、日本の伝統と文化の特色についての認識を深め、社会の変化を理解し公正に判断し、その家庭や結果を様々な方法を使い適切に表現している。	日本史の展開にかかわる問題や課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、情報を読み取り、効果的に活用する。	日本史の展開についての基本的事項について、国際関係などにかかわる問題と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 レポート課題	学習状況の観察 定期テスト(論述問題等) レポート課題	定期テスト（史資料の読み取り等） レポート課題	定期テスト（基本的事項等）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	近代日本の形成と世界	・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:立憲国家の成立から日露戦争後までの展開について、関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b:立憲国家の成立から日露戦争後までの展開について、課題を見いだし、多面的多角的に考察している。 c:立憲国家の成立から日露戦争後までの展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d:立憲国家の成立から日露戦争後までの展開に関する基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 レポート課題 定期テスト
2学期	両世界大戦期の日本と世界	・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:第一次世界大戦から第二次世界大戦までの展開と社会・文化の特色について、関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b:第一次世界大戦から第二次世界大戦までの展開と社会・文化の特色について、課題を見いだし、多面的多角的に考察している。 c:第一次世界大戦から第二次世界大戦までの展開と社会・文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d: 第一次世界大戦から第二次世界大戦までの展開に関する基本的な事柄を、国際環境、アジア近隣諸国との関係と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 レポート課題 定期テスト

3学期	現代の日本と世界	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・55 年体制 ・経済復興から高度成長へ ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の動揺	○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:戦後日本の歩みと国際情勢の推移について、関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b:戦後日本の歩みと国際情勢の推移について、課題を見いだし、多面的多角的に考察している。 c: 戦後日本の歩みと国際情勢の推移に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 d:戦後日本の歩みと国際情勢の推移に関する基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	学習状況の観察 レポート課題 定期テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。